

委員会レポート

農業集落排水事業等 特別会計補正予算について

Q 加入分担金215万円の削減理由は。

A 立田地区の中途加入分担金で、当初より5件分少なく、75万円の減。八開地区は、当初より2件増え60万円の増。

中途加入の概算工事接続工事分で立田地区200万円の減により、マイナスの215万円。

平成23年度 一般会計予算について

Q 観光協会の設立は。

A 先進地のやり方を参考にしながら進めてきた。議案の議決を受けた後、委託料として商工会に支払う。中に人件費として3人分見込んでいる。その3人の採用に当たっては、観光行政に精通している方を、商工会で採用する。

Q 合併処理浄化槽の補助金を受けられる地区はどこか。



A 公共下水道事業の認可区域(第1次、第2次認可区域)と、農業集落排水・コミュニティプラント実施区域以外の現在まだ具体的な下水道等計画がない地区を対象に、合併処理浄化槽の補助金を出している。

平成23年度農業集落排水事業等特別会計予算について

Q 立田地区の23年度末の接続見込みは。

A 23年2月現在で、全体で75.3%。23年度末の目標は85%前後。

総合斎苑建設調査特別委員会

愛西市総合斎苑の指定管理者の指定について

Q 施設の使用手続きと手順は。

A 葬業者または、個人が、斎苑施設に事前に申し込みをして仮予約し、その後、市役所の窓口で、死亡届を提出して、死体火葬許可証を受け取り、その後、斎苑の窓口で使用申請の手続きをして、使用料を納付後に、使用許可書を受け取り、使用当日、死体火葬許可証・使用許可書・領収書を持って斎苑施設へ来てもらう。

Q 祭壇の種類は。

A 仏式の祭壇を始め4種類ある。

Q 指定管理者選定委員会で、どのような論議をされたか。

A 指定管理者の募集要項の内容を検討して、第2回は、プレゼンテーション及びヒヤリングをし、第3回で得点の集計をした。

職員の人数で、正職員4名で行う業者もあれば、正職員2名と非正規職員2名で行う業者もあり、人件費に直結していく問題であり、モニタリングなどで良く調査するようにという、ご意見があった。

Q 選定審査の評価項目で、火葬業務の実績が3年以上とあるが、なぜか。

A まったく火葬の経験のない業者では、運営していくのに不安の要素があり、3年以上の実績のあるものを、指定管理の条件とした。